

事後評価概要資料

番号	2002		担当課名	河川砂防課
事業名	総合治水対策特定河川事業		事業主体	朝霞県土整備事務所
路線・河川・地区名	一級河川 黒目川		事業箇所名	埼玉県朝霞市
事業完了年	H18年	事業分類	① 事業完了後一定期間（2年間）が経過した事業 ② その他（選定理由：）	
経過年数	2年			
事業概要	目的	黒目川は都県を流れる河川であり、流域では市街化が急速に進んだことから、浸水被害が多発しているため、治水安全度の確保を図る。		
	必要性	黒目川流域では、度々浸水被害が発生していたことから、治水安全度の向上が必要となっていた。		
	効果	河道の整備により治水安全度の向上が図れた。これにより、台風、豪雨による黒目川流域での浸水被害の軽減が図れた。		
	事業内容	総事業費	5,695百万円	事業期間
		改修延長 4.4km（新河岸川合流点～黒目橋） 掘削工、築堤工、護岸工、道路橋架換工、樋管工		
事業概要図	<div style="text-align: center;"> <p>横断面図(新河岸川合流点から上流 3.1km)</p> <p>3.0m 40.9m 3.0m</p> <p>H.W.L.</p> <p>1:2</p> <p>26.4m</p> <p>掘削 築堤 現況横断面図 計画横断面図</p> </div>			
事後評価項目	事業の効果の発現状況	黒目川の改修等により、治水安全度の向上が図られた。 総雨量比較（朝霞市+新座市の黒目川流域を対象） ○浸水戸数 319戸（H3年9月 台風18号 総雨量230mm 当時の改修率：22%） →21戸（H16年10月 台風22号 総雨量237mm 当時の改修率：84%） ○浸水面積 40.4ha（H3年9月 台風18号）→0.3ha（H16年10月 台風22号）		
	効果分析の要因の変化	平成15年再評価との比較 ○全体事業費 55.8億円→57.0億円 ・事業区間4.4kmの上流部1.7km区間は改修計画策定にあたり、地元住民及び市民団体の皆様方の意見を反映し、環境に配慮した整備に変更したため、事業費が増額となった。		
	事業実施の環境の変化	砂州、桜並木等の現況河川環境の保全に努めたことから、施工に伴う伐採等で失われた植生が速やかに回復し、施工前と同等な河川環境が維持された。		
	社会経済情勢の変化	平成19年3月から『黒目川花まつり』が開催されるようになり、その他にも夏期と秋期には『黒目川川まつり』が開催されるなど、黒目川の沿川では多くのイベントが開催されている。		
	今後の事後評価の必要性	事業の効果が十分に発揮されており、再度事後評価を行う必要はない。		
	改善措置の必要性	必要なし。		
	同種事業の計画・調査のあり方や事業評価手法の見直しの必要性	必要なし。		
対応方針	今後の事後評価の必要性はなし。			
特記事項				